

安心の基本素材「耐熱ガラス」。



100%天然の鉱物を精製した、地球にやさしい素材の「耐熱ガラス」。熱に強く、酸にも強く、電子レンジで使える特性がある優れたガラスです。素材の安全性を向上させるため「ハリオの耐熱ガラス」は、製造過程で発生する泡を残さないようにするための、泡きり剤も100%「天然塩」を使用しております。ハリオは安心・安全素材であるガラス「耐熱ガラス」を生かしたモノづくりを続けてまいります。

煙突のない工場。

ハリオの耐熱ガラスは 1972 年以來「煙突のない工場」で生産しています。「煙突のない工場」の実現は、ガラス原料を重油でなく電気によって溶かす、独自の技術開発の成功によるものでした。当時のガラス工場といえば煙りと粉塵の害がひどいといった常識を変え、工場隣接の環境を乱すことなく、また中で働く社員に対しても配慮した職場環境を生み出しました。



日本最初の直接通電式ガラス溶融炉の開発の成功により、ハリオの工場から煙突がなくなりました。

(古河工場、ハリオ物流センター全景)

ISO9001 ISO14001
OHSAS18001 認定工場

安心素材。

耐熱ガラスは 100%天然の鉱物を精製したものを原料とした、地球にやさしい素材です。ハリオの耐熱ガラスは、さらに、製品に泡が残らないようにするための「泡きり剤」も 100%「天然塩」を使用し、亜ヒ酸やアンチモンといった重金属を一切使用しておりません。また、ガラスと組み合わせるプラスチック素材についても、電子レンジで加熱をしても環境ホルモンの出ない素材を使用しています。さらに、ガラスにプリントする白のインクは無鉛インクへ切り替えてまいります。安心・安全が原点です。

もったいない

「MOTTAINAI」主義は 40 年以上前から。

日本の美德をあらわした言葉「もったいない」。ケニアの副環境相ワンガリ・マータイ氏は、この言葉に感銘を受け 2005 年 3 月国連女性地位委員会で出席者全員で「もったいない」を唱え話題となりました。

ハリオではこの「もったいない」の思想は 40 年以上前から唱えています。サイフォンやハリオール等「ガラスボールが割れた」「茶こしがよごれた」場合に部品を交換して使う考え方です。「直して、生かし、長く使う」当たり前のことを、当たり前。アフターサービスを考えた物づくりはこれからも続けてまいります。